

令和6年度

学生募集要項

学校推薦型選抜

令和5年9月



◎入学定員・募集人員

| 学部・学科 | 入学定員 | 募 集 人 員 | | | | | | | | |
|-------------|-------|-----------|-----------|----|----|-----|-----|----------|----------|---|
| | | 総合型 選抜 | 学校推薦型選抜 | | | | 計 | 一般選抜 | | |
| | | | 大学入学共通テスト | | | 計 | | 前期 日程 | 後期 日程 | 計 |
| | | | 課さない | | 課す | | | | | |
| 推薦選抜Ⅰ | 推薦選抜Ⅱ | 推薦選抜Ⅲ | | | | | | | | |
| システム科学技術学部 | 240 | 12 | 15 | 19 | 26 | 60 | 124 | 44 | 168 | |
| 機械工学科 | 60 | 3 | 4 | 4 | 7 | 15 | 32 | 10 | 42 | |
| 知能メカトロニクス学科 | 60 | 3 | 4 | 4 | 7 | 15 | 32 | 10 | 42 | |
| 情報工学科 | 40 | 2 | 3 | 4 | 3 | 10 | 20 | 8 | 28 | |
| 建築環境システム学科 | 40 | 2 | 2 | 2 | 6 | 10 | 20 | 8 | 28 | |
| 経営システム工学科 | 40 | 2 | 2 | 5 | 3 | 10 | 20 | 8 | 28 | |
| 生物資源科学部 | 150 | 8 | 16 | 15 | 12 | 43 | 71 | 28 | 99 | |
| 応用生物科学科 | 40 | 2 | 2 | 4 | 4 | 10 | 20 | 8 | 28 | |
| 生物生産科学科 | 40 | 2 | 2 | 4 | 4 | 10 | 20 | 8 | 28 | |
| 生物環境科学科 | 30 | 2 | 2 | 3 | 2 | 7 | 15 | 6 | 21 | |
| アグリビジネス学科 | 40 | 2 | 10* | 4 | 2 | 16 | 16 | 6 | 22 | |
| 合 計 | 390 | 20 | 31 | 34 | 38 | 103 | 195 | 72 | 267 | |

* 10人のうち5人は秋田県内の高等学校を卒業見込みの者から選抜し、その他5人は秋田県を含む全国の高等学校等を卒業見込みの者から選抜します。

◎学校推薦型選抜入試関係日程

| | 推薦選抜Ⅰ・Ⅱ | 推薦選抜Ⅲ |
|------------------|----------------------------------|-----------------------------------|
| 障害等のある入学志願者の事前相談 | 令和5年10月27日（金） まで | 令和5年12月8日（金） まで |
| 出願期間 | 令和5年11月6日（月） ～11月10日（金）午後5時必着 | 令和5年12月18日（月） ～12月22日（金）午後5時必着 |
| 試験期日 | 令和5年11月25日（土） | 令和6年2月3日（土） |
| 合格者発表 | 令和5年12月6日（水） 午後1時予定 | 令和6年2月9日（金） 午後1時予定 |
| 入学手続期限 | 令和5年12月15日（金） 午後5時必着 | 令和6年2月19日（月） 午後5時必着 |

※ 試験日程等が変更となる場合は、本学ホームページでお知らせします。

◎出願可能な対象者一覧

・システム科学技術学部

| 対象者 | 選抜区分 | 学校推薦型選抜 | | | 一般選抜 | |
|-----|-----------------|------------|-------|-------|------|------|
| | | 推薦選抜Ⅰ | 推薦選抜Ⅱ | 推薦選抜Ⅲ | 前期日程 | 後期日程 |
| 県内 | 高等学校(R6.3卒業見込み) | ○（いずれか一区分） | | | ○ | ○ |
| | その他の者 | × | × | × | ○ | ○ |

・生物資源科学部

（応用生物科学科・生物生産科学科・生物環境科学科）

| 対象者 | 選抜区分 | 学校推薦型選抜 | | | 一般選抜 | |
|-----|-----------------|------------|-------|-------|------|------|
| | | 推薦選抜Ⅰ | 推薦選抜Ⅱ | 推薦選抜Ⅲ | 前期日程 | 後期日程 |
| 県内 | 高等学校(R6.3卒業見込み) | ○（いずれか一区分） | | | ○ | ○ |
| | その他の者 | × | × | × | ○ | ○ |

（アグリビジネス学科）

| 対象者 | 選抜区分 | 学校推薦型選抜 | | | 一般選抜 | |
|-----|------------------|------------|-------|-------|------|------|
| | | 推薦選抜Ⅰ | 推薦選抜Ⅱ | 推薦選抜Ⅲ | 前期日程 | 後期日程 |
| 県内 | 高等学校(R6.3卒業見込み) | ○（いずれか一区分） | | | ○ | ○ |
| 県外 | 高等学校等(R6.3卒業見込み) | ○ | × | × | ○ | ○ |
| | その他の者 | × | × | × | ○ | ○ |

目 次

| | | |
|-----|--|----|
| I | 秋田県立大学入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）等 … | 1 |
| | ・システム科学技術学部 入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー） …… | 2 |
| | ・生物資源科学部 入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー） …… | 3 |
| II | 推薦選抜 I・II（大学入学共通テストを課さない） | |
| 1 | 出願資格 …… | 4 |
| 2 | 障害等のある入学志願者の合理的配慮に関する事前相談について …… | 5 |
| 3 | 出願期間および出願方法 …… | 5 |
| 4 | 併願上の注意 …… | 8 |
| 5 | 選抜方法 …… | 8 |
| 6 | 合格者発表 …… | 10 |
| 7 | 入学手続 …… | 10 |
| III | 推薦選抜 III（大学入学共通テストを課す） | |
| 1 | 出願資格 …… | 11 |
| 2 | 障害等のある入学志願者の合理的配慮に関する事前相談について …… | 11 |
| 3 | 出願期間および出願方法 …… | 11 |
| 4 | 大学入学共通テストの受験を要する教科・科目および配点 …… | 14 |
| 5 | 併願上の注意 …… | 15 |
| 6 | 選抜方法 …… | 15 |
| 7 | 合格者発表 …… | 16 |
| 8 | 入学手続 …… | 16 |
| IV | 共通事項（推薦選抜 I・II・III） | |
| 1 | 障害等のある入学志願者の合理的配慮に関する事前相談について …… | 17 |
| 2 | 初年度納付金等について …… | 17 |
| 3 | 授業料の減免、奨学金、特待生制度、後援会、学生寮について …… | 18 |
| 4 | 入学試験成績の開示 …… | 21 |
| 5 | 入学前の指導 …… | 22 |
| 6 | 個人情報の取扱いについて …… | 22 |
| 7 | 試験場案内 …… | 23 |

I 秋田県立大学入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）等

● 入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

本学では、次のような資質をもつ学生を受け入れる。

1. 高等学校等で修得すべき基礎学力を身につけていること
2. 明確な目標をもち、実現に向け思考し判断して行動し、その成果と課題を的確に表現する力を身につけていること
3. 旺盛な知的好奇心をもって主体的に行動し、多様な人々と協働して学び続ける力をもっていること

● 教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

本学では、卒業認定・学位授与の方針に掲げる人材を養成するため、教育課程編成・実施の方針を次のとおりとする。

【順次性・体系性を重視したクサビ型カリキュラム】

専門の知識・技術およびそれらを活用する力と、グローバルな視点、幅広い教養と基礎的能力を育成するために、教養科目と専門教育科目の体系的な教育課程を編成する。その際、1年次から専門教育科目を配置するとともに、3・4年次においても教養科目が履修できるクサビ型カリキュラムを採用する。

【多様な教育方法による資質・能力の育成】

実践的な知識・技術、問題を発見し解決する力と創造力を育成するため、演習・実験・実習を重視した教育課程を編成するとともに、卒業研究を実施する。また、社会で必要となる協調性・責任感や生涯学習能力を育成するため、少人数による能動的な学修および多様な教育方法を組み合わせた授業を行う。

【単位制度の実質化と厳格な学修成果の評価】

登録単位数の上限設定を通して十分な学修時間を確保するとともに、卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）に対応した到達目標と、厳格な評価基準に基づいた成績評価を行う。

● 卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

本学は、現代社会が直面する諸問題を解決することを目指して、以下の能力を身につけ、卒業に必要な単位を修得した学生に学位を授与する。

【知識・理解・技術】

1. 各専門分野の知識・技術を習得し、活用する力を身につけている

【教養・基礎的能力】

2. 幅広い教養と、外国語能力、情報活用能力、コミュニケーション能力などの基礎的能力を身につけている

【態度・志向性】

3. 多様な価値観を有する人々と倫理観・責任感をもって協働することができる
4. 時代の変化に主体的に対応するため継続的に学び、自律的に行動することができる

【問題発見・解決能力】

5. 専門の知識・技術および基礎的能力を統合し活用して、問題を発見し解決する能力を身につけている

【グローバル・創造的思考力】

6. 地域的・国際的視点をあわせもち、また、新たな価値を創造する力を身につけている

※このページの記載内容は全学のもので、学部、学科の入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）については2・3ページで確認してください。また、学部、学科の詳細な教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）および卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）については本学ホームページを参照してください。

※本学には、成績優秀者を対象に奨学金を給付する特待生制度があります。その内の「入学生特待生」は、大学入学共通テストの結果が認定要件となっています。詳細については、18ページを参照してください。

システム科学技術学部 入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

システム科学技術学部では、各教育課程における専門技術とそれらに関連する知識を修得し、システム思考^{※注}により、時代の変化に応じた問題解決能力とものづくりの場への適用が可能な人材の育成を目指している。そのため、以下の資質をもつ人材を受け入れる。

| |
|---|
| <ol style="list-style-type: none"> 1. 高等学校等で修得すべき基礎学力を身につけていること 2. 明確な目標とその実現のための意欲と思考力を身につけていること 3. 旺盛な知的好奇心をもっていること 4. 必要なコミュニケーション能力を身につけていること |
|---|

※注) システム思考とは、分野ごとに高度に専門化・細分化してきたこれまでの工学に欠けていた「統合」の観点を取り入れて、専門技術の合理的調和を図る考え方をいう。

【求める学生像】

各学科では、大学および学部の「入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）」で示した資質に加え、次のような資質をもつ人を求めている。

| | |
|-------------|--|
| 機 械 工 学 科 | <ol style="list-style-type: none"> ①機械工学を理解するのに必要な数学と物理学の基礎学力を有する人 ②ものづくりに興味を持ち、仲間と協力して問題解決に取り組める人 |
| 知能メカトロニクス学科 | <ol style="list-style-type: none"> ①数学と物理学の基礎学力を有し、ものづくりに興味のある人 ②メカトロニクスの専門知識を学ぶ意欲があり、仲間と協力できる人 |
| 情 報 工 学 科 | <ol style="list-style-type: none"> ①数学と物理学の基礎学力を有し、自ら好奇心をもって新しいことに取り組める人 ②情報工学に関心を持ち、新しい技術やシステムを創造して社会に貢献する熱意を有する人 ③自分の意見を明確に表現し、仲間と協力して問題解決に取り組める人 |
| 建築環境システム学科 | <ol style="list-style-type: none"> ①基礎学力と科学に関する総合的な基礎知識を有する人 ②建築、都市、環境に関する知的好奇心にあふれ、積極的に目標に向かって努力できる人 |
| 経営システム工学科 | <ol style="list-style-type: none"> ①経営工学を理解するのに必要な数学および科学全般の基礎学力を有する人 ②社会環境に関する広い視野を身につけ、社会に貢献する意欲を有する人 ③リーダーにふさわしい想像力、積極性、協調性を有する人 |

【高等学校段階での修得が望ましい教科と内容】

| | |
|-----|--|
| 理 科 | 物理基礎、化学基礎に加え、少なくとも物理または化学のいずれかを履修していることが望ましい。特に、機械工学科、知能メカトロニクス学科、情報工学科、建築環境システム学科の4学科では、物理を履修していることが望ましい。 |
| 数 学 | 数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学A、数学Bに加え、数学Ⅲを履修していることが望ましい。 |
| 英 語 | 平易な英文を辞書なしで読み進められる語彙力・文法力を有していることが望ましい。 |
| その他 | 他の教科・科目については、コミュニケーションのために十分な国語力と、技術者として社会の持続的発展に資するための地理、歴史、公民に関する基礎的レベルの知識を有していることが望ましい。 |

【入学者選抜の基本方針】

システム科学技術学部では、大学および学部の入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）ならびに各学科の求める学生像に示された資質を備えているかを選抜区分毎に多様な評価方法を組み合わせて総合的に判断し、入学者を選抜する。

| | |
|-------|---|
| 推薦選抜Ⅰ | 本学での修学に明確な目標を持ち、ものづくり・ことづくり（付加価値の創出）に関する基礎的知識、思考力・判断力、表現力をみるための小論文と、将来、地域社会・産業活性化のリーダーとなり得る人材であるかを判断するため、学びに対する関心・意欲や主体性、協働力、基礎学力などを確認するための面接（口頭試問を含む。）を重視する。 |
| 推薦選抜Ⅱ | 本学での修学に明確な目標を持ち、ものづくり・ことづくり（付加価値の創出）に関する基礎的知識、思考力・判断力、表現力をみるための小論文と、将来、地域社会・産業活性化のリーダーとなり得る人材であるかを判断するため、学びに対する関心・意欲や主体性、協働力、基礎学力などを確認するための面接（口頭試問を含む。）を重視する。 |
| 推薦選抜Ⅲ | 本学での修学に明確な目標を持ち、ものづくり・ことづくり（付加価値の創出）に関する基礎的知識と、将来、研究者や技術者として取り組む意欲などを確認するため、大学入学共通テストによる理科、数学の学力と面接を重視する。 |

生物資源科学部 入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

生物資源科学部では、生物資源に関する先端科学や技術、考え方を修得し、的確なコミュニケーション能力を身につけて、問題を発見し解決するために考え行動できる人材の育成を目指す。そのため、以下の資質をもつ人材を受け入れる。

1. 高等学校等で修得すべき基礎学力を身につけていること
2. 明確な目標とその実現のための意欲と思考力を身につけていること
3. 旺盛な知的好奇心をもっていること
4. 必要なコミュニケーション能力を身につけていること

【求める学生像】

各学科では、大学および学部の「入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）」で示した資質に加え、次のような資質をもつ人を求めている。

| | |
|-----------|--|
| 応用生物科学科 | ①生命科学や食品・醸造の専門知識と技術を学ぶために必要な生物と化学の基礎学力を有する人 ②専門分野の知識や能力を高めることに對して、積極的かつ意欲的に取り組むことができる人 |
| 生物生産科学科 | ①植物を中心とする生命現象を理解するのに必要な生物と化学の基礎学力を有する人 ②植物とその生産に関心があり、専門的知識を身につける意欲を有する人 |
| 生物環境科学科 | ①身の回りの自然環境に関心を持ち、フィールドの中で学び、行動することができる人 ②自然科学に関する基礎知識を持ち、自然への深い関心と探究心を有する人 ③自然と人間が共存できる新たな技術開発や社会システムの構築に意欲を有する人 |
| アグリビジネス学科 | ①生産から消費までの知識・技術やアグリビジネスに対して高い学修意欲と知的探究心を有する人 ②次代の農業・農村および食産業の発展を図ることに熱意を有する人 |

【高等学校段階での修得が望ましい教科と内容】

| | |
|-----|---|
| 理科 | 生物基礎および化学基礎の知識を有していること。加えて、少なくとも生物または化学のいずれかを履修していることが望ましい。 |
| 英語 | 平易な英文を辞書なしで読み進められる語彙力・文法力に加え、身近な情報や自分の意見を英語で伝えられる能力を有していることが望ましい。 |
| 数学 | 数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学A、数学Bを履修していることが望ましい。 |
| その他 | 他の教科・科目については基礎的レベルの知識を有していることが望ましい。 |

【入学者選抜の基本方針】

生物資源科学部では、大学および学部の入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）ならびに各学科の求める学生像に示された資質を備えているかを選抜区分毎に多様な評価方法を組み合わせて総合的に判断し、入学者を選抜する。

| | |
|-------|---|
| 推薦選抜Ⅰ | 本学での修学に明確な目標を持ち、生物・農業・環境に関連する基礎的知識、思考力・判断力、表現力をみるための小論文と、将来、地域の発展に貢献できる人材であるかを判断するため、学びに対する関心・意欲や主体性、協働性、基礎学力などを確認するための面接（口頭試問を含む。）を重視する。 |
| 推薦選抜Ⅱ | 本学での修学に明確な目標を持ち、生物・農業・環境に関連する基礎的知識、思考力・判断力、表現力をみるための小論文と、将来、地域の発展に貢献できる人材であるかを判断するため、学びに対する関心・意欲や主体性、協働性、基礎学力などを確認するための面接（口頭試問を含む。）を重視する。 |
| 推薦選抜Ⅲ | 本学での修学に明確な目標を持ち、生物・農業・環境に関連する分野の課題の科学的な解決に取り組む意欲などを判断するため、大学入学共通テストによる理科、数学、英語の学力と面接を重視する。 |

Ⅱ 推薦選抜Ⅰ・Ⅱ（大学入学共通テストを課さない）

1 出願資格

推薦選抜Ⅰについて

◆システム科学技術学部

次の①から④のすべてに該当する者

- ① 秋田県内の高等学校の工業、情報、水産に関する学科または総合学科（工業に関する専門科目を20単位以上修得見込みの者）を令和6年3月に卒業見込みの者（学校教育法施行規則（昭和22年文部省令第11号）第104条第3項の規定により、学年の途中において、学期の区分に従い、高等学校の卒業を認められる者も含む。）
※ 経営システム工学科については、上記の者に加えて、秋田県内の高等学校の商業に関する学科または総合学科（商業に関する専門科目を20単位以上修得見込みの者）を令和6年3月に卒業見込みの者も含む
- ② 志望する学部、学科に対し熱意と適性を有する者で、高等学校長が責任を持って推薦できる者
- ③ 合格した場合には入学を確約できる者
- ④ 調査書の全体の学習成績の状況が原則4.3以上である者

◆生物資源科学部

次の①から④のすべてに該当する者

- ① 秋田県内の高等学校の農業、工業、水産に関する学科または総合学科（農業、工業、水産に関する専門科目を合計20単位以上修得見込みの者）を令和6年3月に卒業見込みの者（学校教育法施行規則（昭和22年文部省令第11号）第104条第3項の規定により、学年の途中において、学期の区分に従い、高等学校の卒業を認められる者も含む。）
※ アグリビジネス学科については、全国の高等学校等の農業、工業、商業、水産に関する学科または総合学科（農業、工業、商業、水産に関する専門科目を合計20単位以上修得見込みの者）を令和6年3月に卒業見込みの者も含む
- ② 志望する学部、学科に対し熱意と適性を有する者で、高等学校長が責任を持って推薦できる者
- ③ 合格した場合には入学を確約できる者
- ④ 調査書の全体の学習成績の状況が原則4.3以上である者

推薦選抜Ⅱについて

◆システム科学技術学部および生物資源科学部

次の①から④のすべてに該当する者

- ① 秋田県内の高等学校を令和6年3月に卒業見込みの者で、推薦選抜Ⅰの対象者以外の者（学校教育法施行規則（昭和22年文部省令第11号）第104条第3項の規定により、学年の途中において、学期の区分に従い、高等学校の卒業を認められる者も含む。）
- ② 志望する学部、学科に対し熱意と適性を有する者で、高等学校長が責任を持って推薦できる者
- ③ 合格した場合には入学を確約できる者
- ④ 調査書の全体の学習成績の状況が原則4.3以上である者

2 障害等のある入学志願者の合理的配慮に関する事前相談について

本学に入学を志願する者で、障害や疾病・負傷等により、受験上および修学上において特別の配慮を希望する場合は、17ページ「1 障害等のある入学志願者の合理的配慮に関する事前相談について」を参照のうえ、できるだけ早く事前相談を行ってください。

3 出願期間および出願方法

（1）出願期間

令和5年11月6日（月）から11月10日（金）午後5時必着

（2）出願方法

- ① 本選抜はインターネット出願となります。本学ホームページからインターネット出願ページに進み出願手続を行ってください。
- ② 本選抜には、郵送もしくは持参による提出が必要な書類があり、その提出までが出願手続となります。書類の提出は出願期間最終日の午後5時必着とします。なお、持参の場合の受付時間は午前9時から午後5時までとします。
- ③ 出願書類は志願者ごとに、宛名ラベルを貼付した角2封筒に入れた上で、高等学校長が取りまとめて、一括して「書留速達扱いの郵送」または「持参」により提出してください。
- ④ 郵送による場合には、高等学校名および住所を明記の上、必ず封筒表面に「推薦選抜Ⅰ・Ⅱ出願書類〇名分在中」と朱書きしてください。

(3) 入学検定料

17,000円

インターネット出願ページの指示に従い、出願期間内に納付してください。

※ 入学検定料の納付時には別途手数料がかかります。手数料の額は、インターネット出願ページの納付手続画面に表示されます。

(4) 出願書類の提出先

〒010-0195 秋田県秋田市下新城中野字街道端西241-438

秋田県立大学 アドミッションチーム (秋田キャンパス)

TEL : 018-872-1535 FAX : 018-872-1670

(5) 出願書類

| 番号 | 書類名 | 摘要 |
|----|-------|---|
| 1 | 入学志願票 | インターネット出願ページから入学志願票を印刷して提出してください。 |
| 2 | 志望理由書 | 本学所定の様式を使用して800字程度で志望理由を記入し、提出してください。 |
| 3 | 調査書 | 文部科学省所定の様式により高等学校長が作成し、厳封したものを提出してください。 (注) 調査書は、発行日が令和5年4月1日以降のものを提出してください。 |
| 4 | 推薦書 | 本学所定の様式を使用して高等学校長が作成し、厳封したものを提出してください。 |
| 5 | 宛名ラベル | インターネット出願ページから印刷して、角2封筒に貼付してください。提出は高校で取りまとめるので注意してください。 |

(6) 出願上の注意事項

- ① 出願書類に次のような不備のあるものは、受理しないことがあるので、十分確認してください。
 - ア 出願書類がそろっていないもの
 - イ 記入漏れ、誤記のあるもの
- ② 出願書類は、インターネット出願ページの注意事項を参照してください。
- ③ 出願受付後の出願事項の変更は認めません。ただし、氏名、住所、電話番号およびメールアドレスに変更があった場合は、前記「出願書類の提出先」まで連絡してください。
- ④ 受験票は、出願書類受理後令和5年11月15日午前9時よりインターネット出願ページからダウンロードできるようになりますので印刷してください。
- ⑤ 入学を許可した後であっても、提出された出願書類の記載と相違する事実が判明した場合には、入学を取り消すことがあります。
- ⑥ 一度受理した出願書類は、返却しません。

(7) 入学検定料の返還請求について

既納の入学検定料は、次の場合に限り返還します。

| 返 還 事 由 | 返 還 額 ※ |
|---------------------------|---------|
| (ア) 入学検定料を納付したが、出願しなかった場合 | 17,000円 |
| (イ) 入学検定料を誤って二重に納付した場合 | 17,000円 |

※実際の返還額は振込手数料を差し引いた額となります。

【返還請求方法】

本学ホームページから「入学検定料返還請求書」をダウンロードし、必要事項を記入の上、次の送付先へ請求してください。

送付先：〒010-0195 秋田県秋田市下新城野字街道端西241-438

秋田県立大学 アドミッションチーム（秋田キャンパス）

送付期限：令和6年2月22日（木）午後5時必着

注）封筒には「入学検定料返還請求書在中」と朱書きしてください。

4 併願上の注意

- ① 国公立大学の学校推薦型選抜への出願は、一つの大学・学部に限られています。
- ② ただし、本学においては、大学入学共通テストを課さない学校推薦型選抜（推薦選抜Ⅰ・Ⅱ）の合格発表後に、同一学科の大学入学共通テストを課す学校推薦型選抜（推薦選抜Ⅲ）に前者の不合格者が後者の被推薦者となった場合に限り、その出願を認めます。
- ③ 本学の学校推薦型選抜に合格した者は、本学および他の国公立大学（ただし、独自日程で入学者選抜試験を行う公立大学・学部を除く。）を受験しても、その大学の合格者とはなりません。
- ④ 学校推薦型選抜の合格者は、学校推薦型選抜の趣旨から、原則として入学辞退を認めません。ただし、合格者に特別の事情があり、合格者を推薦した学校長が、令和6年2月19日（月）までに秋田県立大学長あてに「推薦入学辞退願」を提出し、その許可が得られた場合に限り、入学辞退を認めます。入学辞退が許可された者は、本学および他の国公立大学を受験することができます。
- ⑤ 入学手続期限までに入学手続を完了しない場合は、合格者としての権利を消失するとともに、④の場合を除き、本学および他の国公立大学を受験しても合格者とはなりません。

5 選抜方法

推薦書、調査書、志望理由書、小論文および面接の結果を総合して判定します。

（1）試験日、時間割

- ① 試験日 令和5年11月25日（土）
- ② 時間割

| 学 部 | 時 間 | 試 験 項 目 |
|------------|----------------|---------------|
| システム科学技術学部 | 午前10時～午前11時30分 | 小論文 |
| | 午後0時30分～ | 面接（時間は指定します。） |
| 生物資源科学部 | 午前10時～午前11時30分 | 小論文 |
| | 午後0時30分～ | 面接（時間は指定します。） |

（2）試験場

- ① システム科学技術学部志願者
本荘キャンパス（由利本荘市）
- ② 生物資源科学部志願者
秋田キャンパス（秋田市）

(3) 面接の内容

① システム科学技術学部

面接では、志望理由書の内容や学部、学科に対する興味関心、大学での学習や将来への意欲などをみます。また、理科、数学について口頭試問を行います。口頭試問の内容は調査書の履修内容に基づきますが、理科は物理基礎（経営システム工学科は物理基礎または化学基礎）の内容が必ず含まれます。

② 生物資源科学部

面接では、志望理由書の内容や学部、学科に対する興味関心、大学での学習や将来への意欲などをみます。また、理科（化学基礎および生物基礎）について口頭試問を行います。

(4) 配 点

| 学 部 名 | 小論文 | 面 接 | 計 |
|------------|-------|-------|-------|
| システム科学技術学部 | 1 0 0 | 2 0 0 | 3 0 0 |
| 生物資源科学部 | 3 0 0 | 5 0 0 | 8 0 0 |

(5) 受験上の注意事項

- ① 当日は、受験票、HBの鉛筆（シャープペンシル可）、消しゴムを必ず持参してください。
- ② 当日に受験票を忘れた者は、速やかに受付の係員に申し出て仮受験票の交付を受けてください。また、受験票は、入学手続の際に必要となるので、試験後も保管してください。
- ③ 受験者は、試験開始30分前までに指定された試験室に入室し、着席してください。また、面接の際は、決められた面接控室に入室し、着席してください。
- ④ 小論文試験開始後は、30分以内の遅刻に限り受験を認めますが、試験時間の延長は行いません。
- ⑤ 原則として、途中退室は認めません。
- ⑥ 面接開始時に不在であった場合には、欠席したものとして取り扱います。
- ⑦ 小論文試験および面接のいずれかを受験しなかった場合は、入学者選抜の対象から除きます。
- ⑧ 受験票は、小論文試験実施時には、試験監督員に明示できるよう机の上に置いてください。
- ⑨ 小論文試験中に使用を許可するものは、HBの鉛筆（シャープペンシル可）、消しゴム、鉛筆削り、時計（時計機能のみのもの）に限ります。これら以外のものを使用した場合は、不正行為となることがあります。
- ⑩ 試験時間中に電子機器類を使用すると不正行為となります。身に付けていたり手に持っ

ていたりするだけでも不正行為となることがありますので、事前に必ず電源を切ってカバン等にしまっておいてください。

- ⑪ 当日は、各自昼食を持参してください。
- ⑫ 健康上の問題が生じた場合に備え、健康保険証を持参してください。
- ⑬ その他の注意事項については、必要に応じて別途通知します。

6 合格者発表

(1) 発表日時

令和5年12月6日(水) 午後1時予定

(2) 発表方法

本学ホームページに合格者受験番号を掲載するとともに、合格者に合格通知書を送付します。また、高等学校長に合否通知書を送付します。なお、電話等による問い合わせには一切応じません。

7 入学手続

(1) 入学手続期限

令和5年12月15日(金) 午後5時必着

(2) 入学手続方法

入学手続の詳細および必要な書類は、合格通知書とともに送付します。

Ⅲ 推薦選抜Ⅲ（大学入学共通テストを課す）

1 出願資格

次の①から④のすべてに該当する者

- ① 秋田県内の高等学校を令和6年3月に卒業見込みの者（学校教育法施行規則（昭和22年文部省令第11号）第104条第3項の規定により、学年の途中において、学期の区分に従い、高等学校の卒業を認められる者も含む。）
- ② 志望する学部、学科に対し熱意と適性を有する者で、高等学校長が責任を持って推薦できる者
- ③ 合格した場合には入学を確約できる者
- ④ 令和6年度大学入学共通テストで本学が指定する教科・科目を受験する者

2 障害等のある入学志願者の合理的配慮に関する事前相談について

本学に入学を志願する者で、障害や疾病・負傷等により、受験上および修学上において特別の配慮を希望する場合は、17ページ「1 障害等のある入学志願者の合理的配慮に関する事前相談について」を参照のうえ、できるだけ早く事前相談を行ってください。

3 出願期間および出願方法

（1）出願期間

令和5年12月18日（月）から12月22日（金）午後5時必着

（2）出願方法

- ① 本選抜はインターネット出願となります。本学ホームページからインターネット出願ページに進み出願手続を行ってください。
- ② 本選抜には、郵送もしくは持参による提出が必要な書類があり、その提出までが出願手続となります。書類の提出は出願期間最終日の午後5時必着とします。なお、持参の場合の受付時間は午前9時から午後5時までとします。
- ③ 出願書類は志願者ごとに、宛名ラベルを貼付した角2封筒に入れた上で、高等学校長が取りまとめて、一括して「書留速達扱いの郵送」または「持参」により提出してください。
- ④ 郵送による場合には、高等学校名および住所を明記の上、必ず封筒表面に「推薦選抜Ⅲ 出願書類〇名分在中」と朱書きしてください。

(3) 入学検定料

17,000円

インターネット出願ページの指示に従い、出願期間内に納付してください。

※ 入学検定料の納付時には別途手数料がかかります。手数料の額は、インターネット出願ページの納付手続画面に表示されます。

(4) 出願書類の提出先

〒010-0195 秋田県秋田市下新城野字街道端西241-438

秋田県立大学 アドミッションチーム (秋田キャンパス)

TEL : 018-872-1535 FAX : 018-872-1670

(5) 出願書類

| 番号 | 書類名 | 摘要 |
|----|-------|--|
| 1 | 入学志願票 | インターネット出願ページから入学志願票を印刷し、大学入試センターから交付された令和6共通テスト成績請求票 国公立推薦型選抜用を所定欄に貼付して提出してください。 |
| 2 | 志望理由書 | 本学所定の様式を使用して800字程度で志望理由を記入し、提出してください。 |
| 3 | 調査書 | 文部科学省所定の様式により高等学校長が作成し、厳封したものを提出してください。 (注) 調査書は、発行日が令和5年4月1日以降のものを提出してください。 |
| 4 | 推薦書 | 本学所定の様式を使用して高等学校長が作成し、厳封したものを提出してください。 |
| 5 | 宛名ラベル | インターネット出願ページから印刷して、角2封筒に貼付してください。提出は高校で取りまとめるので注意してください。 |

(6) 出願上の注意事項

- ① 出願書類に次のような不備のあるものは、受理しないことがあるので、十分確認してください。
 - ア 出願書類がそろっていないもの
 - イ 記入漏れ、誤記のあるもの
- ② 本学が指定する大学入学共通テストの教科・科目のうち受験していない科目がある場合は、面接を受験しても合格者とはなりません。
- ③ 出願書類は、インターネット出願ページの注意事項を参照してください。
- ④ 出願受付後の出願事項の変更は認めません。ただし、氏名、住所、電話番号およびメールアドレスに変更があった場合は、前記「出願書類の提出先」まで連絡してください。
- ⑤ 受験票は、出願書類受理後令和6年1月17日午前9時よりインターネット出願ページ

からダウンロードできるようになりますので印刷してください。

- ⑥ 入学を許可した後であっても、提出された出願書類の記載と相違する事実が判明した場合には、入学を取り消すことがあります。
- ⑦ 一度受理した出願書類は、返却しません。

(7) 入学検定料の返還請求について

既納の入学検定料は、次の場合に限り返還します。

| 返 還 事 由 | 返 還 額 ※ |
|---------------------------|---------|
| (ア) 入学検定料を納付したが、出願しなかった場合 | 17,000円 |
| (イ) 入学検定料を誤って二重に納付した場合 | 17,000円 |

※実際の返還額は振込手数料を差し引いた額となります。

【返還請求方法】

本学ホームページから「入学検定料返還請求書」をダウンロードし、必要事項を記入の上、次の送付先へ請求してください。

送付先：〒010-0195 秋田県秋田市下新城野字街道端西241-438

秋田県立大学 アドミッションチーム（秋田キャンパス）

送付期限：令和6年2月22日（木）午後5時必着

注意）封筒には「入学検定料返還請求書在中」と朱書きしてください。

4 大学入学共通テストの受験を要する教科・科目および配点

| システム科学技術学部 | | | |
|------------|--|-------------------------------|----------------------|
| 教科 | グループ | 科目 | 配点 |
| 数 学 | ① | 「数学Ⅰ・数学A」 | 100 |
| | ② | 「数学Ⅱ・数学B」、「簿記・会計」 「情報関係基礎」 | 左記の3科目から1科目選択 100 |
| 理 科 | ② | 「物理」 | 100 |
| | ◎ 理科については、 <u>経営システム工学科を志望学科とする者に限り</u> 、「化学」による受験も可能とします。（「物理」と「化学」の2科目を受験した場合は、高得点の科目を合否判定に利用します。） | | |
| 合 計 | | | 300 |

※「簿記・会計」「情報関係基礎」を選択する者は当該単位の取得を条件とします。

| 生物資源科学部 | | | |
|---------|------|---------------------------------|----------------------|
| 教科 | グループ | 科目 | 配点 |
| 数 学 | ① | 「数学Ⅰ・数学A」 | 100 |
| | ② | 「数学Ⅱ・数学B」 | 100 |
| 理 科 | ① | 「物理基礎」、「化学基礎」、 「生物基礎」、「地学基礎」 | 左記の4科目から2科目選択 200 |
| | ② | 「物理」、「化学」、「生物」、「地学」 | 左記の4科目から1科目選択 200 |
| | または | | |
| | ② | 「物理」、「化学」、「生物」、「地学」 | 左記の4科目から2科目選択 400 |
| 外 国 語 | | 「英語」（リスニングを含む。） | リーディング 100 |
| | | | リスニング 100 |
| 合 計 | | | 800 |

※「英語」について大学入試センターがリスニングの免除を認めた場合は、リーディングの配点を200点とします。

【両学部共通】

(注) 上記の教科・科目のうち受験しない科目がある場合は、面接を受験しても合格者とはなりませんので、注意してください。

5 併願上の注意

- ① 国公立大学の学校推薦型選抜への出願は、一つの大学・学部に限られています。
- ② ただし、本学においては、大学入学共通テストを課さない学校推薦型選抜（推薦選抜Ⅰ・Ⅱ）の合格発表後に、同一学科の大学入学共通テストを課す学校推薦型選抜（推薦選抜Ⅲ）に前者の不合格者が後者の被推薦者となった場合に限り、その出願を認めます。
- ③ 本学の学校推薦型選抜に合格した者は、本学および他の国公立大学（ただし、独自日程で入学者選抜試験を行う公立大学・学部を除く。）を受験しても、その大学の合格者とはなりません。
- ④ 学校推薦型選抜の合格者は、学校推薦型選抜の趣旨から、原則として入学辞退を認めません。ただし、合格者に特別の事情があり、合格者を推薦した学校長が、令和6年2月19日（月）までに秋田県立大学長あてに「推薦入学辞退願」を提出し、その許可が得られた場合に限り、入学辞退を認めます。入学辞退が許可された者は、本学および他の国公立大学を受験することができます。
- ⑤ 入学手続期限までに入学手続を完了しない場合は、合格者としての権利を消失するとともに、④の場合を除き、本学および他の国公立大学を受験しても合格者とはなりません。

6 選抜方法

大学入学共通テストの成績、推薦書、調査書、志望理由書、面接の結果を総合して判定します。

（1）試験日時等

試験日：令和6年2月3日（土）

試験時間：午前10時から（時間は指定します。）

試験項目：面接

（2）試験場

- ① システム科学技術学部志願者
本荘キャンパス（由利本荘市）
- ② 生物資源科学部志願者
秋田キャンパス（秋田市）

（3）面接の内容

面接では志望理由書の内容や学部、学科に対する興味関心、大学での学習や将来への意欲などをみます。

（4）配 点

| 学 部 | 大学入学共通テスト | 面 接 | 合 計 |
|------------|-----------|-----|-------|
| システム科学技術学部 | 300 | 100 | 400 |
| 生物資源科学部 | 800 | 200 | 1,000 |

(5) 受験上の注意事項

- ① 当日は、「令和6年度大学入学共通テスト受験票」と本学の「2024年度秋田県立大学受験票」の両方を必ず持参してください。
- ② 当日に受験票を忘れた者は、速やかに受付の係員に申し出て仮受験票等の交付を受けてください。また、各受験票は、入学手続の際に必要となるので、試験後も大切に保管してください。
- ③ 受験者は、指定された試験時間の30分前までに、決められた面接控室に入室し、着席してください。
- ④ 面接開始時に不在であった場合には、欠席したものとして取り扱います。
- ⑤ 携帯電話等の電子機器類は、事前に必ず電源を切ってカバン等にしまっておいてください。また、これらは時計として使用できません。
- ⑥ 健康上の問題が生じた場合に備え、健康保険証を持参してください。
- ⑦ その他の注意事項については、必要に応じて別途通知します。

7 合格者発表

(1) 発表日時

令和6年2月9日(金)午後1時予定

(2) 発表方法

本学ホームページに合格者受験番号を掲載するとともに、合格者に合格通知書を送付します。また、高等学校長に合否通知書を送付します。なお、電話等による問い合わせには一切応じません。

8 入学手続

(1) 入学手続期限

令和6年2月19日(月)午後5時必着

(2) 入学手続方法

入学手続の詳細および必要な書類は、合格通知書とともに送付します。

IV 共通事項（推薦選抜Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ）

1 障害等のある入学志願者の合理的配慮に関する事前相談について

本学に入学を志願する者で、障害（学校教育法施行令第22条の3に定める障害の程度）や疾病・負傷等により、受験上および修学上において特別の配慮を希望する場合は、出願に先立ち、できるだけ早く事前相談を行ってください。その際、本学ホームページに掲載している指定の様式に必要事項を記入のうえ、医師の診断書等を添えて、以下の期限までに相談してください。相談を受けて、志願者の普段の様子をよく知る者（担任の先生など）に連絡をとることもあります。また、事前相談で希望する配慮が必ずしも実施できるとは限りません。相談先は、システム科学技術学部を志願する者は本荘キャンパス、生物資源科学部を志願する者は秋田キャンパスとなります。各期限後に不慮の事故等により、受験上および修学上の配慮が必要となった場合についても、速やかにご相談ください。なお、事前相談の申請を行った場合でも、本学への出願が義務づけられるものではありません。

（事前相談期限）

| | |
|---------|---------------------------------|
| 推薦選抜Ⅰ・Ⅱ | 令和5年10月27日（金）午後5時まで（土・日・祝日を除く。） |
| 推薦選抜Ⅲ | 令和5年12月8日（金）午後5時まで（土・日・祝日を除く。） |

2 初年度納付金等について

（1）初年度納付金

① 入学金

| | |
|------|-----------------|
| ア 金額 | 秋田県内の者 282,000円 |
| | 上記以外の者 423,000円 |

（注）「秋田県内の者」とは、次のいずれかに該当する者です。

- 一 入学の日の1年前から引き続き秋田県内に住所を有する者
- 二 配偶者または1親等の親族が入学の日の1年前から引き続き秋田県内に住所を有する者
- 三 前2号に掲げる者のほか、これらの者に準ずる者として理事長が認めた者

イ 納付方法 合格通知書に同封する入学手続書類に従って、入学手続の際に納付してください。

高等教育の修学支援新制度の支援対象となっている場合、入学手続時に入学金を納付し、入学後に返還となります。納付の猶予はできませんので注意してください。

なお、高等教育の修学支援新制度に伴う返還や、本学が認める特別な理由がある場合を除き、納付した入学金は返還しません。

② 授業料

| | |
|------|-------------|
| ア 金額 | 年額 535,800円 |
|------|-------------|

イ 納付方法 前期（納付期限4月30日）、後期（同10月31日）の2回に分けて納付してください。なお、在学中に授業料が改定された場合は、改定時から新授業料が適用されます。

3 授業料の減免、奨学金、特待生制度、後援会、学生寮について

(1) 授業料の減免

家庭の経済的事情または不測の災害などのため、授業料の納付が著しく困難な学生に対して高等教育の修学支援新制度に基づく授業料の減免制度があります。

(2) 奨学金

- ① 独立行政法人日本学生支援機構の奨学金や高等教育の修学支援新制度の詳細については、独立行政法人日本学生支援機構のホームページをご覧ください。
- ② この他にも、地方公共団体等の奨学金制度があります。

(3) 特待生制度

本学には、成績優秀者に対して奨学金を給付する次の2つの特待生制度があります。

① 入学生特待生

大学入学共通テストで本学が指定する教科・科目を受験し、一定の要件を満たした場合、年間授業料相当額（535,800円）を4年間、奨学金として給付します。（ただし、学業成績の結果により2年次以降の奨学金が停止される場合があります。）

（認定要件）

秋田県内の高等学校等を卒業（修了）した者で、次の①から③のいずれかの要件を満たす者

- ①すべての選抜区分の入学者において、大学入学共通テストの得点率*が、システム科学技術学部および生物資源科学部の各学部で最上位の者
- ②総合型選抜および推薦選抜Ⅰ・Ⅱ・Ⅲにより選抜された入学者で、大学入学共通テストの得点率*が70%以上である者
- ③一般選抜により選抜された入学者で、大学入学共通テストの得点率*が75%以上である者

※19ページの〈本学の一般選抜で各学部が定める5教科7科目または5教科8科目〉の得点率です。ただし、総合型選抜および推薦選抜Ⅰ・Ⅱ・Ⅲにより選抜された入学者の場合は、「成績通知書」を提出した者に限ります。

※ 認定要件①および②に該当する者で入学生特待生を希望する者は、次のページの〈本学の定める大学入学共通テストの教科・科目、配点〉を確認できる「成績通知書」の提出が必須となります（一般選抜を除く）。大学入学共通テストの出願時に成績開示手数料を検定料と併せて払い込んでください。なお、入学後は大学入試センターから送付される「成績通知書」を本学の事務局アドミッションチームに提出してください。

本学の定める大学入学共通テストの教科・科目、配点

| システム科学技術学部 | | | | |
|------------|--|--|----------------------------|-------|
| 教科 | グループ | 科 目 | 配 点 | |
| 国 語 | | 「国語」 | 1 0 0 | |
| 地理歴史 | | 「世界史 A」、「世界史 B」、「日本史 A」 「日本史 B」、「地理 A」、「地理 B」 | 左記の10科目から 1 科目選択 1 0 0 | |
| 公 民 | | 「現代社会」、「倫理」、「政治・経済」 「倫理, 政治・経済」 | | |
| 数 学 | ① | 「数学 I ・ 数学 A」 | 1 0 0 | |
| | ② | 「数学 II ・ 数学 B」、「簿記・会計」 「情報関係基礎」 | 左記の 3 科目から 1 科目選択 1 0 0 | |
| 理 科 | ① | 「物理基礎」、「化学基礎」、 「生物基礎」、「地学基礎」 | 左記の 4 科目から 2 科目選択 1 0 0 | |
| | ② | 「物理」 | 1 0 0 | |
| | または | | | |
| | ② | 「物理」 | | 1 0 0 |
| | | 「化学」、「生物」、「地学」 | 左記の 3 科目から 1 科目選択 | 1 0 0 |
| | ◎ 理科については上記に加え、 <u>経営システム工学科</u> を志望する者に限り、次の科目による受験も可能とします。 | | | |
| | | グループ | 科 目 | 配 点 |
| | ① | 「物理基礎」、「化学基礎」 「生物基礎」、「地学基礎」 | 左記の 4 科目から 2 科目選択 1 0 0 | |
| | ② | 「化学」、「生物」、「地学」 | 左記の 3 科目から 1 科目選択 1 0 0 | |
| または | | | | |
| | ② | 「化学」、「生物」、「地学」 | 左記の 3 科目から 2 科目選択 2 0 0 | |
| 外 国 語 | | 「英語」（リスニングを含む。） | リーディング 100 リスニング 100 | |

※「簿記・会計」「情報関係基礎」を選択する者は当該単位の取得を条件とします。

| 生物資源科学部 | | | |
|---------|------|--|----------------------------|
| 教科 | グループ | 科 目 | 配 点 |
| 国 語 | | 「国語」 | 1 0 0 |
| 地理歴史 | | 「世界史 A」、「世界史 B」、「日本史 A」 「日本史 B」、「地理 A」、「地理 B」 | 左記の10科目から 1 科目選択 1 0 0 |
| 公 民 | | 「現代社会」、「倫理」、「政治・経済」、 「倫理, 政治・経済」 | |
| 数 学 | ① | 「数学 I ・ 数学 A」 | 1 0 0 |
| | ② | 「数学 II ・ 数学 B」 | 1 0 0 |
| 理 科 | ① | 「物理基礎」、「化学基礎」、 「生物基礎」、「地学基礎」 | 左記の 4 科目から 2 科目選択 1 0 0 |
| | ② | 「物理」、「化学」、「生物」、「地学」 | 左記の 4 科目から 1 科目選択 1 0 0 |
| | または | | |
| | ② | 「物理」、「化学」、「生物」、「地学」 | 左記の 4 科目から 2 科目選択 2 0 0 |
| 外 国 語 | | 「英語」（リスニングを含む。） | リーディング 50 リスニング 50 |

【両学部共通】

(注)「英語」について大学入試センターがリスニングの免除を認めた場合は、リーディングの配点をシステム科学技術学部では200点、生物資源科学部では100点とします。

② 在学生特待生

入学生特待生を除くすべての本学在學生（1年生を除く。）を対象とし、前年度の通期学業成績が優秀である者の中から選考し認定を受けた者を『在学生特待生』と称し、半期授業料に相当する奨学金を給付します。

（４）後援会

本学には、学生の各種活動を経済的に支援するための後援会があります。

後援会は、学生の父母・保証人を会員として組織している団体です。主な活動としては、後援会加入学生を対象として「学生教育研究災害傷害保険（学研災）」および「学研災付帯賠償責任保険」に一括加入しているほか、サークル活動や就職講座の受講等への助成等を行っています。

後援会費は4年間で50,000円です。なお、入学手続関係書類に後援会の入会案内および会費納入方法のお知らせを同封しますので、趣旨をご理解の上、入学手続きと併せ、入会の手続きをお願いします。

（５）学生寮

① 概要

本学には、次のとおり生物資源科学部・研究科の学生を主な対象とした学生寮があります。

| 寮名 | 収容人数 | 施設概要 | 居室形態 | 寮費(月額) | 所在地 |
|-----|------------------|---------------------------------|--|-----------------------------------|---|
| 清新寮 | 男子120名 女子120名 | 鉄筋コンクリート7階建 男子2～4階 女子5～7階 | 完全個室（風呂、 トイレ共用） フローリング6畳 ベットの机・ク ローゼット・冷暖 房完備 | 50,000円 平日2食、土日祝日3食付 光熱水費含む | 秋田県南秋田郡大潟 村字南2-2 大潟キャンパス内 (秋田キャンパスからは 30キロメートル程離れ ています。) |

② 通学方法

学生寮と秋田キャンパスとの間で無料シャトルバスを運行しており、授業やサークルなどの都合に合わせて利用することができます。（授業期間1日7往復、長期休暇期間1日2往復程度、いずれも平日のみ）。

シャトルバス以外の通学方法としては、南秋地域広域マイタウンバス（1日5往復程度）とJRを乗り継ぐ方法があります。

③ 入寮について

入寮に関する書類は合格通知書送付の際に同封します。また、申請受付は入学手続期限までとなります。

募集人員については、各選抜区分の定員数により変動し、申請数が募集人数を超えた場合は抽選となります。

結果については申請受付締切日以降、順次書面にてお知らせする予定です。

入寮基準

《自宅からの距離・時間》

住居地が秋田キャンパスより60キロメートル以上離れている、または片道1時間30分以上かかること。

《経済的理由による入寮希望について》

経済的理由により入寮を希望する学生で、本学が定める授業料減免申請基準を満たす者については、部屋が空いている場合は優先的に入寮を許可します。

【学生寮に関する問い合わせ先】

秋田県立大学 学生チーム（秋田キャンパス） TEL：018-872-1519

（6）下宿・アパート

下宿・アパートについては、各キャンパスにおいて大学に寄せられた情報の掲示等を行っています。

4 入学試験成績の開示

当該入学者選抜試験に係る個人情報の開示は、「公立大学法人秋田県立大学入試情報公開規程」に基づき、不合格者本人に限って、口頭による簡易開示請求により、その場で閲覧することができます。

（1）請求の方法

本人が、開示場所に出向いて請求してください。

その際、請求者が本人であることを確認するため、必ず印刷した本学の受験票を持参してください。ただし、やむを得ない事由で開示請求に向くことができない場合には、開示期間中に（5）に記載の問い合わせ先までご連絡ください。

（2）開示する情報

得点（推薦選抜Ⅰ・Ⅱの場合は小論文および面接。推薦選抜Ⅲの場合は大学入学共通テスト（本学で合否判定に用いた科目）および面接。

（3）開示する期間

推薦選抜Ⅰ・Ⅱは合格者発表の日から2週間（土・日を除く。）

推薦選抜Ⅲは令和6年4月15日（月）から2週間（土・日・祝日を除く。）

（4）開示する場所

システム科学技術学部受験者 本荘キャンパス

生物資源科学部受験者 秋田キャンパス

（5）入学試験成績の開示についての問い合わせ先

秋田県立大学 アドミッションチーム（秋田キャンパス）

〒010-0195 秋田県秋田市下新城中野字街道端西241-438

TEL：018-872-1535 FAX：018-872-1670

5 入学前の指導

入学手続者に対して課題添削・スクーリング等入学前指導を実施します。科目・日程など詳細については、入学手続者に別途お知らせします。

6 個人情報の取扱いについて

個人情報については、「公立大学法人秋田県立大学個人情報保護規程」に基づいて取り扱います。

(1) 出願にあたって知り得た個人情報は、次の業務を行うために利用します。

- ①入学者選抜
- ②合格者発表
- ③入学手続
- ④次年度以降の学生募集

(2) 入学者選抜に用いた試験成績は、今後の入学者選抜方法の検討資料作成のために利用します。

(3) 国公立大学の一般選抜における合格者決定業務を円滑に行うため、受験者の氏名および大学入学共通テストの受験番号に合否および入学手続等に関する個人情報を付して、大学入試センターおよび併願先の国公立大学に提供します。

(4) 出願にあたって知り得た個人情報は、入学者についてのみ次の業務を行うために利用します。

- ①教務関係業務（学籍管理、学修指導等）
- ②学生支援関係業務（奨学金申請等）
- ③授業料徴収業務

(5) 本学に出願した者および保護者は、上記の記載内容に同意したものとみなします。

7 試験場案内

【本荘キャンパス（システム科学技術学部）】

〒015-0055 秋田県由利本荘市土谷字海老ノ口84-4

TEL：0184-27-2100 FAX：0184-27-2180

- ・秋田空港から車で約50分
- ・秋田駅から羽後本荘駅まで JR で約45分
- ・羽後本荘駅から車で約10分
- ・羽後本荘駅から徒歩約30分

【秋田キャンパス（生物資源科学部）】

〒010-0195 秋田県秋田市下新城野字街道端西241-438

TEL：018-872-1535 FAX：018-872-1670

- ・秋田空港から車で約1時間
- ・秋田駅から車で約30分
- ・秋田駅から追分駅まで JR で約15分, 追分駅から徒歩20分
- ・秋田駅から五城目線、追分線バスを利用してバス停「追分三叉路」まで約40分
- ・バス停「追分三叉路」から徒歩15分

令和6年度入学生のノートパソコンの必携について

本学では、令和5年度学部入学生から、ノートパソコンを必携としています。持参したノートパソコンは、各種授業での活用を始め、レポート等の作成、学習支援システム（manaba）の操作、履修登録や成績確認など、日常的な学習活動において幅広く利用しますので、入学までに準備してください。

なお、準備が必要となるノートパソコンの仕様（令和6年度版）については、改めて本学ホームページ等で周知しますが、すでに所有しているものが仕様に合致している場合は、新たに準備する必要はありません。また、経済的理由によりパソコンを購入できない場合の支援制度についても検討を進めています。

《受験生の方へ》

試験当日の所持品チェック表

◎推薦選抜Ⅰ・Ⅱ

| | | |
|---|-------------------|--|
| 1 | 「2024年度秋田県立大学受験票」 | |
| 2 | HBの鉛筆（シャープペンシル可） | |
| 3 | 消しゴム | |
| 4 | 鉛筆削り | |
| 5 | 時計（時計機能のみのももの） | |
| 6 | 昼食 | |
| 7 | 健康保険証 | |

◎推薦選抜Ⅲ

| | | |
|---|-------------------------------|--|
| 1 | 「令和6年度大学入学者選抜に係る大学入学共通テスト受験票」 | |
| 2 | 「2024年度秋田県立大学受験票」 | |
| 3 | HBの鉛筆（シャープペンシル可） | |
| 4 | 消しゴム | |
| 5 | 鉛筆削り | |
| 6 | 時計（時計機能のみのももの） | |
| 7 | 健康保険証 | |

出願、受験、その他の問い合わせ先

システム科学技術学部

〒015-0055

秋田県由利本荘市土谷字海老ノ口84-4

秋田県立大学 アドミッションチーム（本荘キャンパス）

TEL：0184-27-2100

FAX：0184-27-2180

生物資源科学部

〒010-0195

秋田県秋田市下新城野字街道端西241-438

秋田県立大学 アドミッションチーム（秋田キャンパス）

TEL：018-872-1535

FAX：018-872-1670

◎ホームページアドレス

<https://www.akita-pu.ac.jp/>

（右記のQRコードからアクセスできます。）



◎メールアドレス

nyushi-apu@akita-pu.ac.jp